

統計委員会 国民経済計算部会 第1回ストックワーキンググループ 議事要旨

1. 日時 平成22年1月18日(月)10:00~11:45

2. 場所 第4号合同庁舎4階 共用第四特別会議室(406)

3. 出席者

(委員)

高木座長、井出専門委員、中村専門委員、野村専門委員

(審議協力者)

チャールズ・ホリオカ審議協力者、総務省政策統括官室(統計基準担当)、総務省統計局、財務省、農林水産省、国土交通省、日本銀行

(内閣府(事務局))

岩田経済社会総合研究所長、乾統計委員会担当室長、中藤経済社会総合研究所次長、私市総括政策研究官、豊田国民経済計算部長、長谷川企画調査課長、百瀬国民資産課長、阿部国民生産課長、松谷価格分析課長、二上企画調査課研究専門職

4. 議事

(1) スtockワーキンググループについて(設置の経緯・課題・今後の予定)

(2) 新たな資本統計の整備への取り組みについて

(3) 育成資産の試算値について(17年基準改定に向けた課題)

(4) その他

5. 議事要旨

(1) スtockワーキンググループについて(設置の経緯・課題・今後の予定)

内閣府より、資料1-1及び1-2に基づき、ストックワーキンググループについて説明を行った。

(2) 新たな資本統計の整備への取り組みについて

内閣府より、資料2に基づき、説明。その後、野村専門委員より補足説明。

・SNAの制度部門別、財別の不整合や粗い分類について投資推計の問題が指摘されている。生産、投資、資本ストックの整合性をとり、加工統計として望ましいものになりたい。

・投資は、民間企業・投資除却調査(CED調査)で産業別投資額を財別に捉え、生産は、コモ8桁分類の細かいデータがある。資本財については、コモと同概念・定義の産業連関表(1-0表)の固定資本マトリックスを拡張することにより主体別財別投資額となる。さらに各年の差分により資産別の償却額の分布となる。今回の試算値はプロトタイプで、コモの財別データ、民間部門の産業別投資額、公的機関の格付の変更への対応等さらなる検討が必要。

<主な議論は次の通り>

試算値が現状推計値と異なる要因は何か。基準年を複数化する場合のデータ変

動及び公的分類の変更等への対応はどのようにするのか。

差の要因は償却比率等。

基準年の複数化は今、取り組んでいるところ。

公的部門の範囲は、今回は12年基準、今後17年基準に合わせて組み替える予定。

恒久棚卸法(PIM)に国富調査をベンチマークとして取り入れる理由、基準年に2000年の固定資本マトリックスとCED調査を用いる理由、1970年国富調査の値と乖離している点、制度部門、産業分割にRAS法を多段階で実施する方法の妥当性。

国富調査を含む形でPIMを適用するが、ベンチマークを利用してPIMを適用する考え方は欧米でも採られている。

I0表の固定資本マトリックスをフローのベンチとし、産業別に対応した財の分割にCED調査を用いた。

国富調査との乖離が大きいものは、試算に用いた償却率を見直す可能性がある。減価償却率は民間と個人でも違いうだろうし、期間やAge(経過年数)で変わる。RAS法を適用する場合いろいろと制約条件がある。それを踏まえ、各年ごとに多段階で適用している。

基準年を複数にしたとき、CED調査が無い古い時点の扱いはどうするのか。

(3) 育成資産の試算について

1) 内閣府より、資料3に基づき育成資産の推計方法等を説明。主な議論は次の通り。

実質ストック推計の物量ストック推計について、物量アプローチの中で年齢別コンポジットの問題や実質在庫に農業用固定資産が入る可能性の検証について。

乳用牛が入る可能性もある。農耕用、乳用牛など、どの種類の牛か確認したい。

内閣府調査におけるインハウスにおけるエンジニアの時間パラメータが低いといわれる点、及び同調査結果の公表予定について。

推計作業上のパラメータということで、客体にアンケートしているので、その関係から、結果公表を行なう予定はない。水準が低いという点について、データを精査しているところであり、現状において低いから使えないという結論は出ていない。

2) (座長のまとめ) 座長より、育成資産とインハウスの推計方法と今後の予定について発言があった。

・育成資産の推計方法については、了解をいただいたということで進めたいと思う。

自社開発ソフトウェアの推計結果については、引き続き検討していただくこととしたい。ただし、年度内に何らかの方針は固めたい。

(4) その他

内閣府より、資料2「新たな資本統計の整備への取り組みについて」に関わるスケジュールについて補足説明を行った。

以上

なお、本議事要旨は速報版のため、事後修正の可能性があります。